

第8回 第4次静岡市総合計画策定会議

日時：令和4年5月24日（火）
13時00分から14時30分
会場：オンライン会議（各執務室）

【ZOOM】ID：922 9448 7624
パスコード：930 954

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 議題
 - (1) 「(仮) 7つの柱」の見直しについて 資料1
 - (2) 「人口70万人維持」に代わる指標の検討について 資料2
 - (3) 「横断的視点」の考え方について 資料3
- 4 報告事項・その他連絡事項
 - (1) 今後のスケジュール 資料4
- 5 閉会

次回会議（予定）

・ 6月13日（月）13:00～16:00 第9回策定会議

(仮) 7つの柱の見直し検討について

見直し前体系 (R4.3パブリックコメント実施時点)

基本構想

概ね
2040年

まちづくりの目標

世界に輝く静岡の実現

まちづくりの目標を達成するために
目指す都市像

~ “まち” が輝く ~

静岡市が擁する地域資源を磨き、輝かせ、世界から注目され、人々が集まるまち

~ “市民” が輝く ~

静岡市に暮らす市民一人ひとりが、輝いて、自分らしい人生を謳歌できるまち

目指す都市像の
実現に向けた取組

基本構想に即した基本計画を策定し、以下に留意しながら政策・施策を円滑かつ着実に推進する。

- 市民、企業、行政が互いに手を取り合い、あらゆる場面で活躍できるシチズンシップに富んだ人材を育て、新たな価値を生み出しながら取り組む
- 国籍や性別、障がいの有無など、人々の多様性を尊重しつつ、地球の豊かな環境や生態系を守りながら、経済、社会、環境が調和したまちづくりを進める
- 静岡市を訪れ、静岡市と関わる人々の輪を広げ、まちの活力を高める

時代の潮流

具体的な取組を定める

人口フレーム

重点目標

~人口活力を高め、まちと暮らしを豊かにする~

定住人口の減少を抑えつつ、交流人口、関係人口を創出し、「まちの魅力の向上」と「市民の生活の質の向上」を図る

2つのテーマ

まちの魅力の向上
(⇒“まち”が輝く)

市民の生活の質の向上
(⇒“市民”が輝く)

指標案：市内GDP
市民満足度 など

横断的視点
(時代の要請や国際社会の期待に応えるために意識する視点)

SDGsの推進

DXの推進

脱炭素社会の実現

基本計画

2023~
2030年度

重点目標を達成するための取組

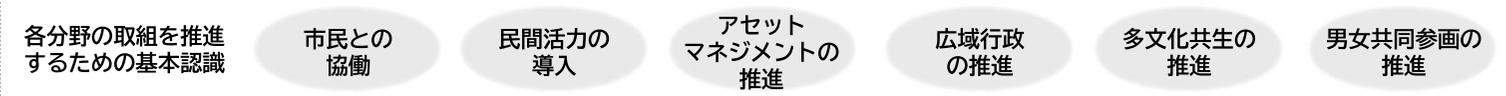
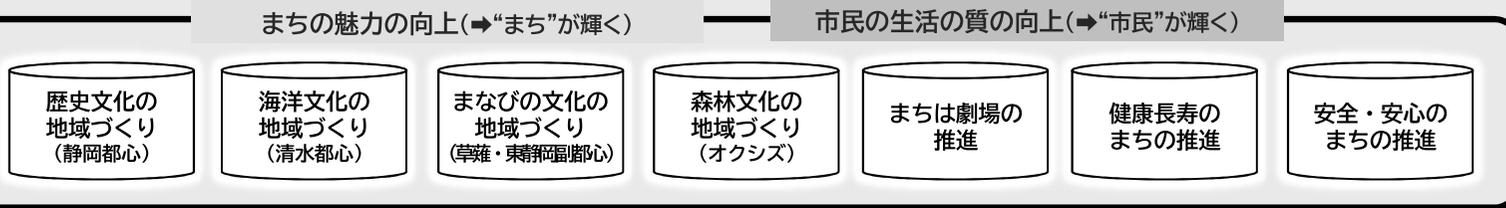
(仮) 7つの柱

(4次総におけるリーディングプロジェクト)

抽出・再編

分野別の取組

(市民の暮らしや経済活動など、市政全般の取組)



実施計画

基本計画に基づく個別の事務事業

(仮) 7つの柱の見直し検討について

資料1

見直しのポイント・方針

「(仮) 7つの柱」に関して、令和4年3月のパブリックコメント結果や、市議会会派からの意見・提案等を踏まえ、以下のとおり見直しを検討する。

主な見直しポイント	パブリックコメントでの市民意見・市議会会派からの意見	見直し方針
分野別計画について	<ul style="list-style-type: none">細かいこと、交通やインフラ、教育の水準など当たり前のことに力を入れてほしい。	<ul style="list-style-type: none">まずベースとなる分野別計画において、市政全般の取組を着実に推進していくことを分かりやすく示す。
柱の数について	<ul style="list-style-type: none">柱のレベル感が揃っていない。手広く商売しすぎの印象。もっと絞ってもよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none">全体を見直し再編成する中で、柱を7つから5つに絞りつつ、レベル感を揃える。
「まなびの文化の地域づくり」の柱について	<ul style="list-style-type: none">「まなび」が曖昧でわかりにくい。それぞれの都心の方向性は示され具体的な事業が進められており、次の段階を見据えるべき。	<ul style="list-style-type: none">当初「教育・スポーツ文化の地域づくり」として検討していたものを「まなび」に改めたが、『わかりにくい』との意見を踏まえ、従前のとおり「教育」と「スポーツ」要素に分けて再検討する。生涯学習（「ここに」等）などの「教育」要素は、分野別計画で着実に推進していく。「スポーツ」要素については、「まちは劇場」と合わせ「交流」の柱として取組を推進する。草薙エリアについては、既に地域主体のまちづくりが進められており、分野別計画に位置付けた上で引き続き取組を推進する。
「安全・安心のまちの推進」の柱について	<ul style="list-style-type: none">気候変動や災害から感染症、社会問題まで全てを「安全・安心のまちの推進」1項目でまとめるのはどうなのか。「安全・安心」は、市民生活の上では当然に必要な取組であり、柱として掲げるまでもなく推進してほしい。	<ul style="list-style-type: none">現在の「安全・安心」の内容のうち自然災害対策、感染症対策、多文化共生などの取組は、分野別計画で着実に推進していく。一方、子ども政策（困難を抱える子どもの支援）については、新たな「共生」の柱に組み込む。
「まちは劇場の推進」の柱について	<ul style="list-style-type: none">「まちは劇場」など認知度が低いような気もする。「まちは劇場」の名称からもたらされる施策のイメージがしにくい。事業としての「まちは劇場」は重要だが、交流人口の拡大が上位の目的。市民に分かりやすい柱とするべき。	<ul style="list-style-type: none">「まちは劇場」の目的や狙いを明確にし、より大きな政策として推進するため、新たな「交流」の柱に組み込み、スポーツ政策と一体のものとして位置付ける。
「健康長寿のまちの推進」の柱について	<ul style="list-style-type: none">「健康長寿のまちづくりもいいが、高齢者も大事にするなら、若者世代も大事にする施策を入れてほしい。3次総では「健康長寿」のみが前面に出ており、理解しにくい。子ども子育てと健康長寿を並列で推進していくべき。	<ul style="list-style-type: none">高齢者のみに特化した柱ではなく、全世代型の支え合いをキーワードとした「共生」の柱を新たに立て取組を推進する。（柱に位置付ける具体の取組については、引き続き検討していく。）
子ども政策について	<ul style="list-style-type: none">子育て世代を重視した計画になっていない。待機児童ゼロを維持しつつ、アフター待機児童ゼロの取組を始める必要がある。子育て支援は柱に明示するべき。	<ul style="list-style-type: none">待機児童対策や母親への支援など、これまで取り組んできた子ども・子育てに関する事業は、分野別計画で着実に推進していく。子ども政策のうち4次総で特に注力する取組（困難を抱える子どもへの支援等）については、新たな「共生」の柱に組み込む。

(仮) 7つの柱の見直し検討について

見直し後体系イメージ

「世界に輝く静岡」の実現

『市民』が輝く

- 生活の質（QOL）の向上
- 安全・安心な暮らしの充実

市民が都市を輝かせ、
都市が市民を輝かせる
好循環を創り出す

『都市(まち)』が輝く

- 都市(まち)の魅力（都市格）の向上
- 持続的な経済成長の促進

3つの横断的視点

SDGsの推進



DXの推進

脱炭素社会の
実現

17



●行政（国・県・5市2町）
●公民（経済界・企業団体）
●連携

を
意識
する

分野別計画

観光・交流	農林水産	商工・物流	文化・スポーツ	子ども・教育
【目指す姿】 国内外の多くの人々を惹きつけ、多彩な交流や賑わいが生まれるまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 南アルプスから駿河湾までの豊かな地域資源を活かし、持続可能な農林水産業を営める環境の実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 時代の変化に対応しながら地域資源を磨き上げるとともに、企業と人とのパートナーシップにより、豊かに経済成長を続けるまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 歴史に育まれてきた多彩な静岡の文化を国内外へ発信し、一人ひとりが輝き続けるまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 すべての子ども・若者が、夢や希望をもって、健やかで、たくましく、しなやかに育つまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進
都市・交通	社会基盤	健康・福祉	消防・防災	生活・環境
【目指す姿】 快適で質の高いまちの拠点と、住環境・交通環境の充実による、誰もが暮らしたい・訪れたい“人中心”のまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 経済の好循環を支え、誰もが安全で幸せに暮らすことができる持続可能な社会基盤を有するまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 誰もが健やかに自分らしく地域で共に生きることのできるまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 災害から市民の生命や財産を守り、安全・安心に暮らせるまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進 	【目指す姿】 人と自然が共生し、将来にわたり豊かな営みを続けられるまちの実現 【政策・施策・事業】 <ul style="list-style-type: none"> ●〇〇の推進 ●〇〇の推進

※分野別計画の内容は各作業部会において検討中（次回第9回会議において各作業部会から取組内容を説明する予定）

分野別計画の中で着実に
取り組むことを表現する

経済活性化
対策

産業経済の発展

自然災害対策・
新型コロナ
対策(2つの
Life)

危機管理体制の強化

「市民が輝く」「都市が輝く」を加速させるための5つのテーマを
重点的なプロジェクトと位置付け、施策群として再編

重点的な施策群 分野を越えて 取り組む

全世代の人が支え合う
共生まちづくり

- ①健康長寿(人生100年時代)
・主要事業 ○○
- ②困難を抱える子どもへの支援
・主要事業 ○○

スポーツ・文化芸術の
力を活かした
交流まちづくり

- ①スポーツ環境の充実
・主要事業 ○○
- ②まちは劇場の推進
・主要事業 ○○

歴史文化の地域づくり
(静岡都心)

- ①駿府城公園周辺の賑わい創出
・主要事業 ○○
- ②市民の歴史認識の醸成
・主要事業 ○○

海洋文化の地域づくり
(清水都心)

- ①清水港周辺の賑わい創出
・主要事業 ○○
- ②海洋関連産業の発展
・主要事業 ○○

森林文化の地域づくり
(オクシズ地域)

- ①オクシズ生活機能維持
・主要事業 ○○
- ②自然環境の保全と経済活性化の両立
・主要事業 ○○

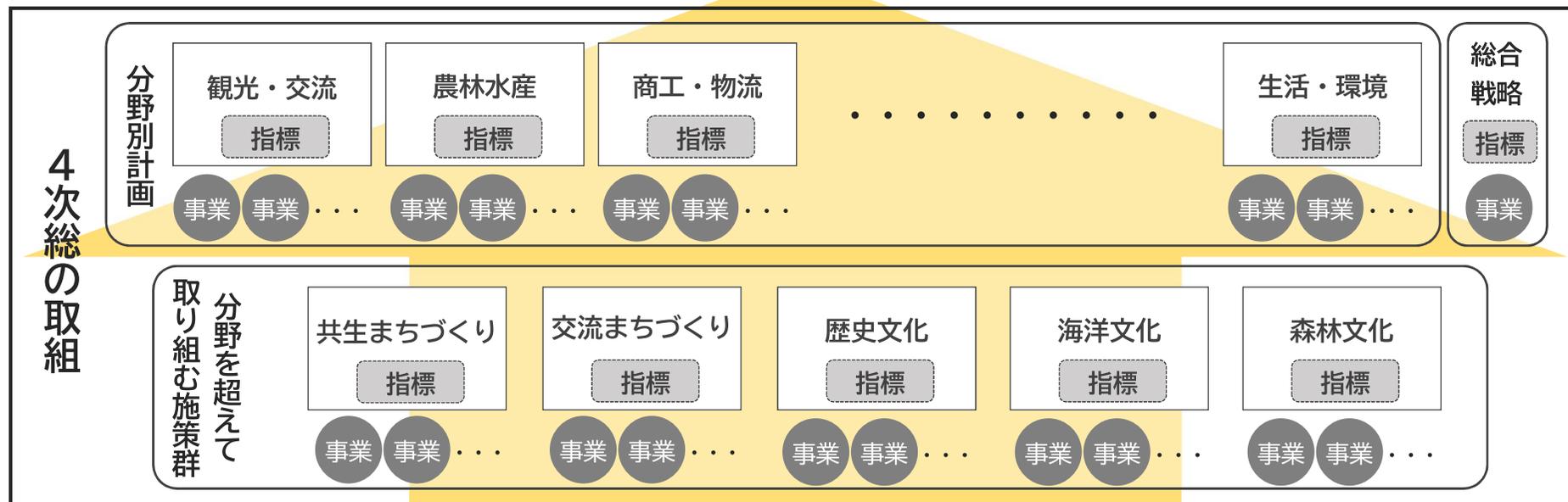
※施策群の名称や取組の項目については仮称
※柱の見直しに伴い、ロジックモデルの再構築が必要となるため、今後関係局と連携し検討を進める

考え方

- 3次総の最大目標である「(2025年の)人口70万人維持」に代わる指標として、『市民』が輝く（市民の生活の質の向上）、『都市(まち)』が輝く（都市の魅力の向上）を測る新たな指標を設定する。
- 個別分野（経済・子育て・防災・・・など）の達成度を測る指標は分野別計画や柱の中でそれぞれ位置付けることから、重点目標の指標は、4次総全体の取組が進むことで市民生活にどのような変化が生じたかを測る最上位のアウトカム指標としたい。
- 市民目線に立ち、市民の共感が得られる指標とすることを意識する。

重点目標案「人口活力を高め、まちと暮らしを豊かにする」

「人口70万人維持」
に代わる指標



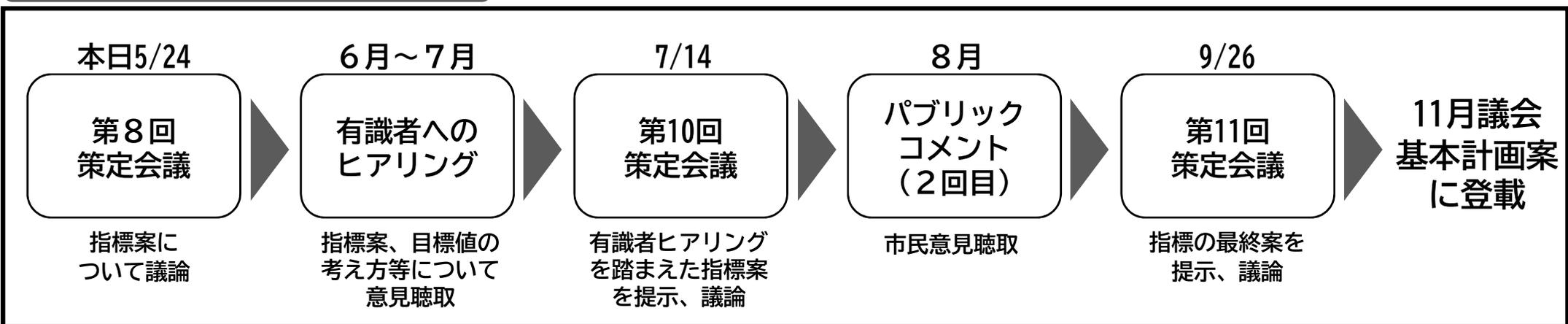
新たな指標案

	指標案
『市民』が輝く (市民の生活の質(QOL)の向上)を測る指標	<ul style="list-style-type: none">・ 静岡市にずっと住み続けたいと感じる市民の割合・ 心身的、経済的に豊かな暮らしが送れていると思う市民の割合・ 静岡市で暮らすことを市外の友人・知人に勧めたいと思う市民の割合 など
『都市(まち)』が輝く (都市(まち)の魅力(都市格)の向上)を測る指標	<ul style="list-style-type: none">・ 静岡市に愛着を持っている市民の割合・ 都市全体に活気があり、人を惹きつける魅力があると思う市民の割合・ 静岡市の魅力を市外の友人・知人に教えたいと思う市民の割合 など

※ 指標のモニタリングのため、毎年度、市民意識調査を実施する。

※ 調査の際には、「思うor思わない」の選択のみでなく、「そう思う理由」を併せて問うことで、各分野の取組について適切な検証を行っていく。

指標決定までのステップ



定住人口目標の取扱い

- 令和4年3月に実施した骨子案のパブリックコメントで、定住人口の目標を掲げないことについて肯定的な意見、否定的な意見が市民からそれぞれ寄せられた。
- パブリックコメントの意見を踏まえ、4次総における定住人口目標の取扱いについて改めて検討を行う。

パブリックコメント意見要旨



人口の70万人維持を4次総で削除するのは仕方がないと思うが、子育て環境の整備や、若者の流出を食い止めるなどの施策をしっかりと打ち出してもらいたいと思う。



人口に関して70万人維持を目標として続けてほしい。人口維持目標があるから、それを目指すために、よりポジティブな施策の数々が出てくる。



70万人維持という目標は適切であったのか。早くから人口減少を前提とした施策に切り替える必要があったと思う。

パブリックコメントの市民意見を
踏まえ再検討

◇基本的な考え方

- ・ 3次総では、「2025年の総人口70万人維持」を“最大目標”として掲げた。
- ・ 4次総では、交流人口や関係人口も含めて人口活力の向上を図っていく
- ・ 定住人口も「人口活力」の重要な一要素として押さえつつ、各種施策を進めていく必要があると考える。

◇定住人口目標の取扱い（案）

- ・ 定住人口は、4次総の重点目標を達成するための「補助指標」として位置付ける。
- ・ 4次総終期である2030年度終了時点の目安として「概ね65万人※」と定める。
- ・ 補助指標が達成されたかどうかの評価は行わないが、人口動態の推移をモニタリングし、様々な施策の検証作業などの参考としていく。

※国立社会保障・人口問題研究所が2018年に示した最新の人口推計によると、2030年の本市の人口は646,098人となっているため、当該推計値を超える「概ね65万人」を目安として定める。

4次総 基本構想・基本計画の章立てイメージ

	3次総	4次総
基本構想	1 まちづくりの目標 2 目指す都市像 (1)「歴史文化のまち」づくり (2)「健康長寿のまち」づくり 3 市政のさらなる展開 (1)「創造する力」による「都市の発展」 (2)「つながる力」による「くらしの充実」 4 基本計画の策定	1 策定の趣旨 2 まちづくりの目標 3 まちづくりの目標を達成するために目指す都市像 4 目指す都市像の実現に向けた取組
基本計画	第1章 基本計画のフレーム (1) 基本計画の位置づけ (2) 基本計画の区域 (3) 基本計画の期間 (4) 基本計画の内容 (5) 実施計画の策定	第1章 基本計画のフレーム (1) 基本計画の位置づけ (2) 基本計画の区域 (3) 基本計画の期間 (4) 基本計画の内容 (5) 実施計画の策定
	第2章 時代の潮流	第2章 時代の潮流 (1) 本市を取り巻く環境 (2) 人口フレーム
	第3章 目標人口 (1) 本市の人口状況 (2) 目標人口の設定	第3章 重点目標 (1) 人口活力を高め、まちと暮らしを豊かにする (2) 指標について
	第4章 重点プロジェクト (1)「創造する力」による「都市の発展」 歴史都市・文化都市・中枢都市 (2)「つながる力」による「くらしの充実」 健康都市・防災都市・共生都市	第4章 横断的視点 (1) SDGsの推進 (2) DXの推進 (3) 脱炭素社会の実現
	第5章 分野別の基本的な方向性 ①観光・交流 ②農林水産 ③商工・物流 ④文化・スポーツ ⑤子ども・教育 ⑥都市・交通 ⑦社会基盤 ⑧健康・福祉 ⑨防災・消防 ⑩生活・環境	第5章 分野を越えて取り組む施策群 ・全世代の人が支え合う共生まちづくり ・スポーツ・文化芸術の力を活かした交流まちづくり ・歴史文化の地域づくり ・海洋文化の地域づくり ・森林文化の地域づくり
	第6章 各分野の政策・施策を推進するための視点 1 市民自治 (1) 知らせる (2) やってみる (3) 深める (4) つながる 2 都市経営 (1) 質の高い行財政運営 (2) 効果的なアセットマネジメント (3) ICTの高度利用 (4) 多面的な広域行政	第6章 分野別の基本的な方向性 ①観光・交流 ②農林水産 ③商工・物流 ④文化・スポーツ ⑤子ども・教育 ⑥都市・交通 ⑦社会基盤 ⑧健康・福祉 ⑨防災・消防 ⑩生活・環境
	第7章 都市構造軸の考え方	第7章 各分野の取組を推進するための基本認識 (1) 市民との協働 (2) 民間活力の導入 (3) アセットマネジメントの推進 (4) 広域行政の推進 (5) 多文化共生の推進 (6) 男女共同参画の推進
	第8章 各区の取組	第8章 都市構造軸の考え方 第9章 各区の取組

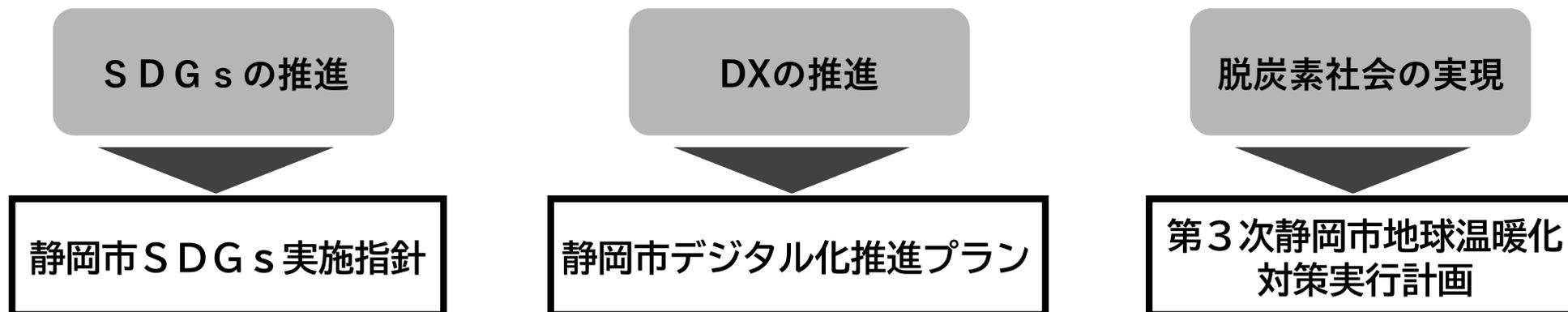
4次総における横断的視点

※R4.3パブリックコメント資料での説明

<p>横断的視点 (時代の要請や国際社会の期待に応えるために意識する視点)</p>	<p>【SDGsの推進】 ・「SDGs未来都市」、そしてアジア地域で唯一の「SDGsハブ都市」として、世界における静岡市の存在感と求心力を高めていくため、4次総と同じ2030年を目標年次とするSDGsの考えを取り入れ、取組を進めていきます。</p> <p>【DXの推進】 ・本市の事業を推進する上で、デジタル技術の活用を意識するとともに、誰もがデジタル化による豊かさを享受できる地域社会の実現を目指して、取組を進めていきます。</p> <p>【脱炭素社会の実現】 ・地球環境の保全と地域経済の発展を両立させ、将来に渡り豊かな営みを続けていくことを目指し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、取組を進めていきます。</p>
--	--

横断的視点の考え方

- ・ 3つの横断的視点は、4次総期間中に行うすべての事業を企画・実施する際に意識する視点として、取り入れていく。
- ・ 今後、各局が所管する個別計画の策定・改定に当たっては、3つの横断的視点を意識して検討する。
- ・ 4次総の基本計画では、大枠を示し、具体的な推進策については、下記に示すそれぞれの視点に関する計画等で定めていく。
- ・ 各局における横断的視点の意識づけを行うために、重要政策検討会議・経営会議の提案書や4次総重点ハード事業・ソフト事業の提案時等において、3つの視点についての記載欄を設け、効果等の確認を行っていく。



3つの横断的視点の基本計画掲載内容（案）

SDGsの推進

- 1 世界・国内の動向
 - ・2015年国連において採択（世界）
 - ・2016年からSDGs推進本部を設置し、取組を推進している（国内）
- 2 静岡市のこれまでの取組
 - ・2018年から市政へ組込み
 - ・2018年政府から未来都市、国連からハブ都市に選定
 - ・3年間の重点的な普及啓発により市民認知度66%
- 3 4次総における取組方針
 - ・全庁的な取組の推進
 - ・公民連携、パートナーシップによる取組の推進
 - ・積極的な情報発信

DXの推進

- 1 世界・国内の動向
 - ・コロナ禍において、急速にデジタル化が進展（世界・国内）
 - ・2021年デジタル庁発足、デジタル田園都市国家構想提唱（国内）
- 2 静岡市のこれまでの取組
 - ・2021年デジタル化推進プラン策定
 - ・静岡型Maas
- 3 4次総における取組方針
 - ・行政のデジタル化
 - ・地域のデジタル化
 - ・デジタル人材の確保と育成

脱炭素社会の実現

- 1 世界・国内の動向
 - ・2015年パリ協定、2021～22年IPCC第6次評価報告書（世界）
 - ・2050年までに温室効果ガス排出ゼロを宣言、地球温暖化対策計画等により取組を推進（国内）
- 2 静岡市のこれまでの取組
 - ・2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指すことを宣言
 - ・2022年脱炭素先行地域へ選定
- 3 4次総における取組方針
 - ・脱炭素先行地域における取組の推進
 - ・地域資源を活かした取組の推進
 - ・グリーン産業創出の推進
 - ・吸収源対策の推進

4次総全体スケジュール

今ここ

資料 4

		令和3年度											令和4年度																									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
策定会議・広報		策定方針決定					基本構想・基本計画素案作成						第7回			第8回			第9回			第10回			第11回			第12回		第13回		第14回		第15回				
基本構想		構成検討 内容検討		位置付け 体系検討			基本構想 骨子作成			詳細検討			市民意見・有識者意見反映 文章化作業											修正作業			基本構想・基本計画											
基本計画	1-4章 横断的視点 総合戦略 重点目標	3次総評価 時代潮流反映		構成作成			パブリックコメント① 期間：3月1日～31日											修正作業			11月議会 議案上程 ※10月中旬議案が切																	
	5章 5つの 重点施策群 (仮)	現状分析 目指す姿検討		目的-手段検討 成果指標検討			骨子作成			パブリックコメント② 期間：8月1日～31日(仮)											修正作業																	
	6章 分野別の 取組	検討体制検討		ロジックモデル作成			事業検討			見直し検討			ロジックモデル修正作業			事業整理 文章化作業			ローリングに合わせて 事業整理																			
	7-9章 各区の取組 都市構造軸 基本認識	分野別体系 検討・決定		策定体制決定			現状分析 課題抽出			方向性検討 指標検討			事業検討			骨子作成 文章化作業			修正作業																			
実施計画													事業検討			文章化・予算化			2月議会 報告																			
冊子作成													方向性検討			発注・制作									冊子完成													
プロジェクトチーム		PT人選検討		PT結成			主に7つの柱の 各作業をフォロー											各作業をフォロー																				
策定会議 議題・報告事項		【第1回】 ・基本方針 ・基本構想 の考え方 ・体系イメージ		【第2回】 ・目標人口 ・基本構想 の概要 ・3次総評価 ・部会進め方 ・市民参画 ・有識者			【第3回】 ・基本構想 ・目標人口 ・7つの柱 目指す姿 ・表現検討 ・PT進捗			【第4回】 ・基本構想 ・4次総体系 ・SDGs ・有識者ヒア ・各部会 進捗報告 ・PT			【第5回】 ・基本構想 ・4次総体系 ・7つの柱 進捗 ・政策施策 評価 ・分野別進捗 ・市民参画			【第6回】 ・基本構想 骨子 ・基本計画 骨子 ・7つの柱 修正			【第7回】 ・7つの柱 ・パブコメ① 結果 ・分野別計画 ・Voice報告			【第8回】 ・7つの柱 ・70万人に 代わる指標 ・横断的視点			【第9回】 ・分野別計画 ・基本認識			【第10回】 ・パブコメ② 案 ・シンポジウ ム情報提供 ・有識者ヒア リング結果			【第11回】 ・パブコメ② 結果 ・議案上程用 原案説明			【第12回】 ※未定		【第13回】 ※未定		【第14回】 ※未定
市民参画		市長ミーティング室 ● 市民アンケート ●					パブコメ① ● Voice of しずおか ●						市長ミーティング室 ● (調整中)			パブコメ② ● シンポジウム ●			市民アンケート (指標)						左記の他、各局が個別に実施する市民参画手段で得られる 市民意見なども、4次総策定の参考としていく。													
有識者ヒアリング		実施																																				
議会対応		会派説明 ●			会派説明 ●			市議会協議会 ●					会派説明 ●			会派説明 ●			会派説明 ●			市議会協議会 ●																